

令和元年

消防統計

(火災・救急・救助統計について)

救急車は
地域の限られた救急資源



大垣消防組合消防本部

503-0933 大垣市外野3丁目20番地2

代表番号 0584-87-0119

FAX番号 0584-87-1515

目 次

令和元年消防統計概要	1～2
火災統計	3～4
原因別出火件数	3
月別出火件数・損害額	4
建物火災用途別件数	4
10年間の出火原因別順位 ワースト3	4
救急統計	5～6
救急事故種別	5
傷病程度別搬送人員	6
年齢別搬送人員	6
10年間の救急出動件数	6
救助統計	7
その他の緊急出動	7

令和元年消防統計概要

令和元年における大垣消防組合管内1市4町《大垣市(上石津地域を除く。)・神戸町・輪之内町・安八町・池田町 人口約22万3千人》の火災・救急・救助などの状況をまとめました。

◆ 火災統計から・・・

総出火件数は16件の減少、建物火災は全火災の約55%

出火件数は56件で、前年の72件と比べ16件減少し、過去10年のうち最も少ない件数となっています。

組合構成市町別では、大垣市が37件(12件減少)、神戸町が5件(3件減少)、輪之内町が5件(2件増加)、安八町が5件(1件減少)、池田町が4件(2件減少)となっています。

火災種別では、建物火災が31件(7件減少)、車両火災が7件(2件増加)、その他の火災が18件(11件減少)で、林野火災の発生はありませんでした。

建物火災のうち住宅(共同・併用住宅等含む。)からの出火件数は16件で、全建物火災件数の約52%となっています。

出火原因の1位は「火入れ(枯草焼き)」、次いで「こんろ」及び「たばこ」

出火原因別では「火入れ(枯草焼き)」が9件、「こんろ」及び「たばこ」が各5件となっています。

「火入れ(枯草焼き)」は前年と同数で、田畑の畔での枯草焼きが風にあおられ延焼拡大しているケースが多くみられます。

「こんろ」の5件のうち、2件は調理油過熱防止装置が未設置の家庭用のガスこんろを使用中にその場を離れたことにより出火しています。全口に調理油過熱防止装置が設置されていない家庭用ガスこんろを使用している方は買い替えをお勧めするとともに、調理中はこんろから目を離さないようにしましょう。

「たばこ」の5件のうち4件は屋外で発生し、たばこの火種が残ったまま捨てたことにより出火しています。完全に消したことを確認して、投げ捨てはしないようにしましょう。

また、前年7件で2番目に多かった「放火(疑い含む。)」は、2件で5番目となり著しく減少しています。

火災による死者は4人、負傷者は10人

火災による死者は4人、負傷者は10人発生し、前年より各1人増加しています。1件の火災で、死傷者が6人も発生する建物火災がありました。また、全死者4人のうち3人は80歳以上の高齢者の方で逃げ遅れにより亡くなっています。

火災による損害額は2億8,209万8千円

火災損害額は2億8,209万8千円となり、前年の2億2,439万9千円と比べ5,769万9千円増加し、輪之内町地内で発生した工場火災により増加しています。

◆ 救急統計から・・・

救急出動件数は1万132件、1日あたり約28件出動

救急出動件数は10,132件で、前年の10,546件より414件減少しました。これは、1日に約28件の割合で救急車が出動したことになります。

救急事故種別をみますと、急病が6,816件(約67%)で全出動件数の半数以上を占め、次いで一般負傷が1,370件(約14%)、交通事故が918件(約9%)の順となっています。

搬送人員は9,674人で、そのうち入院加療を必要としない軽症傷病者は3,349人(約35%)となり、前年の3,950人(約39%)と比べ減少しています。今後も救急車の適正利用について考え、行動することを呼びかける広報を継続していきます。

◆ 救助統計から・・・

救助出動件数は21件減少、前年に引き続き交通事故が半数以上

救助出動件数は54件で、前年の75件より21件減少となりました。

内訳をみますと、交通事故による出動が全体の6割以上を占め、次いでその他の事故、火災の順になっています。また、前年からの大幅な減少は水難事故がなかったこと、建物内での事故が大幅に減

少したことがあげられます。

◆ **その他の緊急出動から・・・**

火災・救急・救助出動以外の出動件数は 839 件で前年の 1,031 件に比べ 192 件減少しました。出動種別では PA 連携出動が 671 件（約 80%）で、次いで警戒出動が 106 件（約 13%）の順になっています。

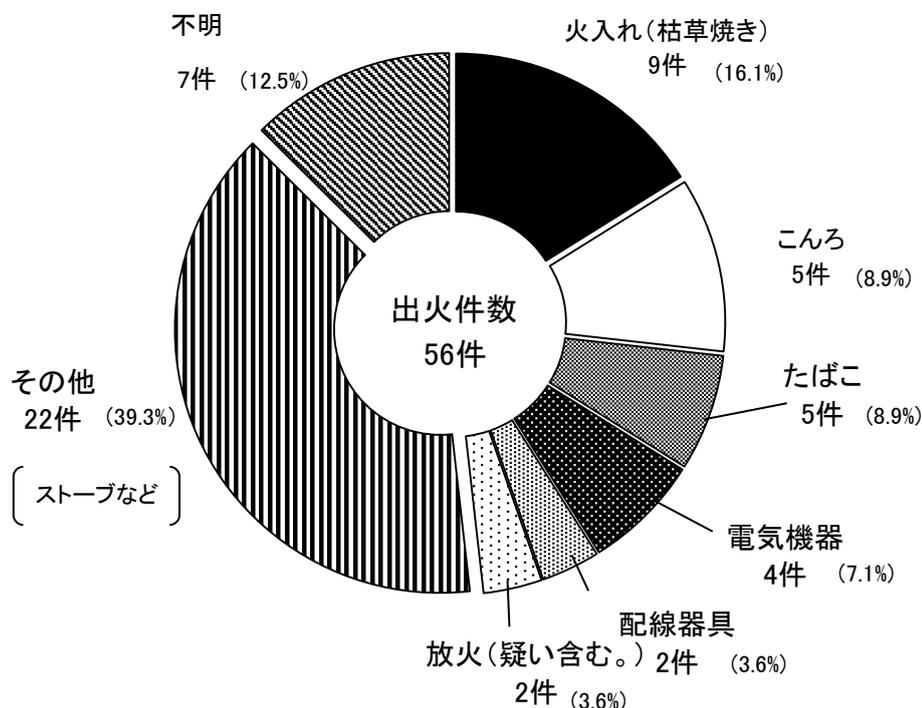
火災統計

区分	令和元年 (A)	平成30年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					
				大垣市	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	
出火件数	計(件)	56	72	△16	37	5	5	5	4
	建物火災	31	38	△7	21	3	3	2	2
	林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両火災	7	5	2	4	1	0	1	1
	その他の火災	18	29	△11	12	1	2	2	1
焼損棟数	計(棟)	46	57	△11	25	3	3	9	6
	全焼	11	18	△7	7	1	0	2	1
	半焼	4	4	0	2	1	1	0	0
	部分焼	14	13	1	5	0	2	5	2
	ぼや	17	22	△5	11	1	0	2	3
焼損面積	床面積(m ²)	3,275	1,885	1,390	658	49	1,757	391	420
	表面積(m ²)	69	102	△33	11	1	4	46	7
	林野(a)	0	0	0	0	0	0	0	0
り災世帯数(世帯)	22	20	2	12	2	0	6	2	
り災人員(人)	65	38	27	31	5	0	21	8	
損害額(千円)	282,098	224,399	57,699	64,133	5,814	168,487	34,670	8,994	
死傷者(人)	死者	4	3	1	0	0	0	4	0
	傷者	10	9	1	2	1	3	4	0

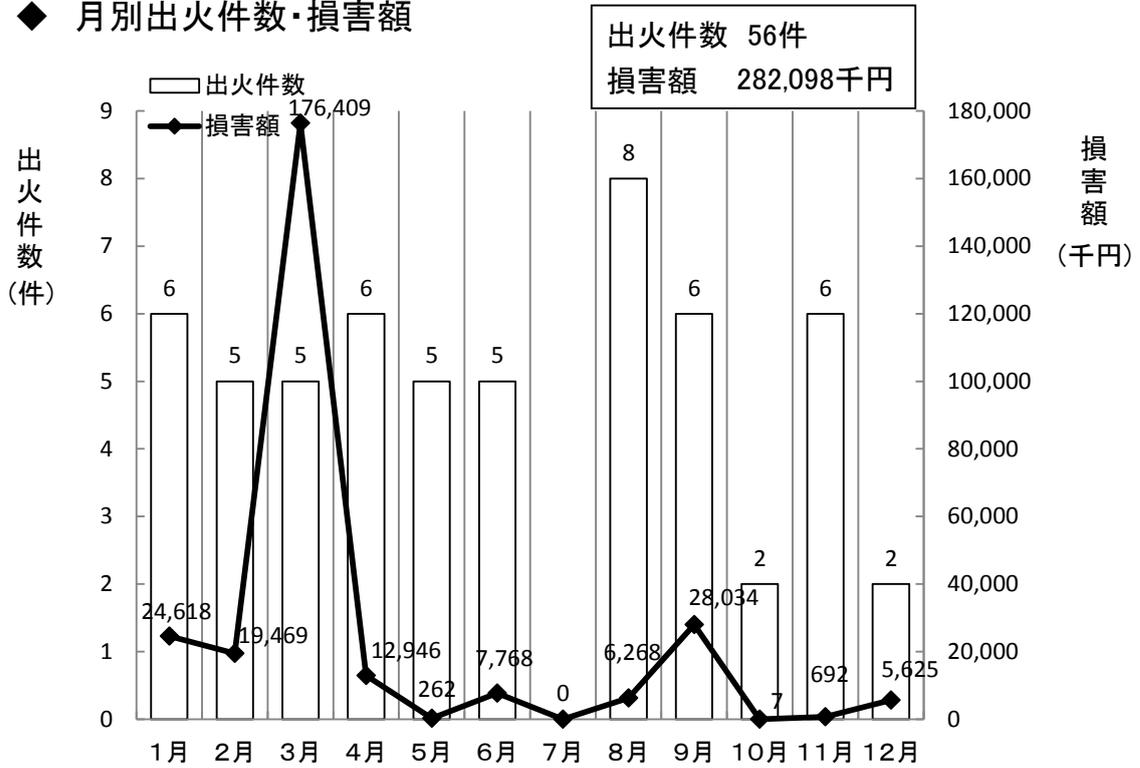
(△は負数を表す)

1日平均出火件数……………約0.15件(7日に約1件)
 1日平均火災損害額……………約77万円
 火災1件あたりの平均損害額……………約504万円
 建物火災1件あたりの焼損床面積……………約105.6㎡

◆ 原因別出火件数



◆ 月別出火件数・損害額



◆ 建物火災用途別件数

用途	住宅部分を含む用途			住宅部分を含まない用途		
	専用住宅	共同住宅	併用住宅等	特定用途	工場等	その他
件数 (件)	10	4	2	3	8	4

特定用途とは、飲食店などの不特定多数の人が出入りする建物をいう。

※ 出火件数56件のうち、建物火災は31件

◆ 10年間の出火原因別順位 ワースト3

年別 順位	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
1位	放火(疑い含む。) 18件	放火(疑い含む。) 17件	放火(疑い含む。) 14件	放火(疑い含む。) 17件	放火(疑い含む。) 16件	こんろ 放火(疑い含む。) 10件	放火(疑い含む。) 10件	放火(疑い含む。) 火入れ(結草焼き) 9件	火入れ(結草焼き) 9件	火入れ(結草焼き) 9件
2位	たばこ 7件	こんろ 7件	こんろ たばこ 各5件	たばこ 11件	たばこ 火入れ 各7件	各7件	各8件	各8件	7件	こんろ たばこ 各5件
3位	こんろ 6件	火遊び 6件	電気装置 6件	電気装置 6件	電灯・電柱等の配線 各7件	火入れ(結草焼き) 配線器具 各9件	各6件	たばこ 7件	たばこ 6件	たばこ 6件
管内 総出火件数	83件	76件	62件	81件	82件	83件	68件	78件	72件	56件

救急統計

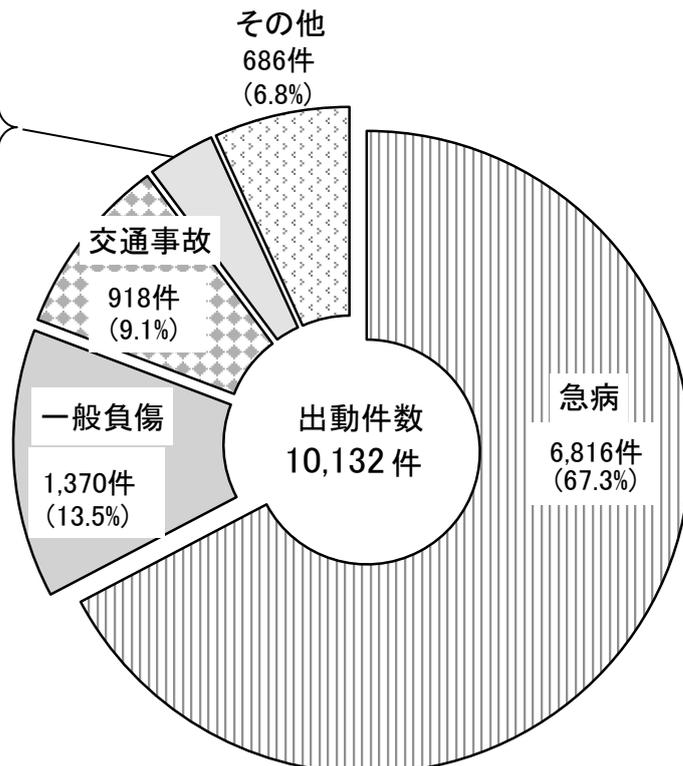
区分 種別 件数 人員	令和 元年 (A)	平成 30年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					高 速 道 路	管 外	
				大 垣 市	神 戸 町	町 輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町			
火 災	出動件数	29	42	△ 13	17	3	4	3	2	-	-
	搬送人員	7	7	0	-	1	3	3	-	-	-
自然災害	出動件数	1	4	△ 3	1	-	-	-	-	-	-
	搬送人員	1	3	△ 2	1	-	-	-	-	-	-
水難事故	出動件数	0	4	△ 4	-	-	-	-	-	-	-
	搬送人員	0	1	△ 1	-	-	-	-	-	-	-
交通事故	出動件数	918	1,012	△ 94	659	80	39	65	68	5	2
	搬送人員	967	1,141	△ 174	686	78	48	72	74	8	1
労働災害	出動件数	114	128	△ 14	71	7	6	18	10	1	1
	搬送人員	114	128	△ 14	71	7	6	18	10	1	1
運動競技	出動件数	113	83	30	85	9	5	3	11	-	-
	搬送人員	122	86	36	88	9	4	3	18	-	-
一般負傷	出動件数	1,370	1,375	△ 5	1,012	97	42	85	131	2	1
	搬送人員	1,331	1,321	10	982	96	40	81	129	2	1
加 害	出動件数	23	28	△ 5	19	1	-	2	1	-	-
	搬送人員	19	24	△ 5	15	1	-	2	1	-	-
自損行為	出動件数	62	69	△ 7	49	4	1	3	5	-	-
	搬送人員	47	51	△ 4	37	4	1	2	3	-	-
急 病	出動件数	6,816	7,078	△ 262	5,030	555	265	372	581	12	1
	搬送人員	6,508	6,765	△ 257	4,792	525	257	357	564	12	1
そ の 他	出動件数	686	723	△ 37	509	40	31	36	70	-	-
	搬送人員	558	584	△ 26	415	26	29	25	63	-	-
合 計	出動件数	10,132	10,546	△ 414	7,452	796	393	587	879	20	5
	搬送人員	9,674	10,111	△ 437	7,087	747	388	563	862	23	4
不 搬 送		600	634	△ 34	449	58	18	38	36	-	1

(△は負数を表す)

1日平均出動件数……………約28件

◆ 救急事故種別

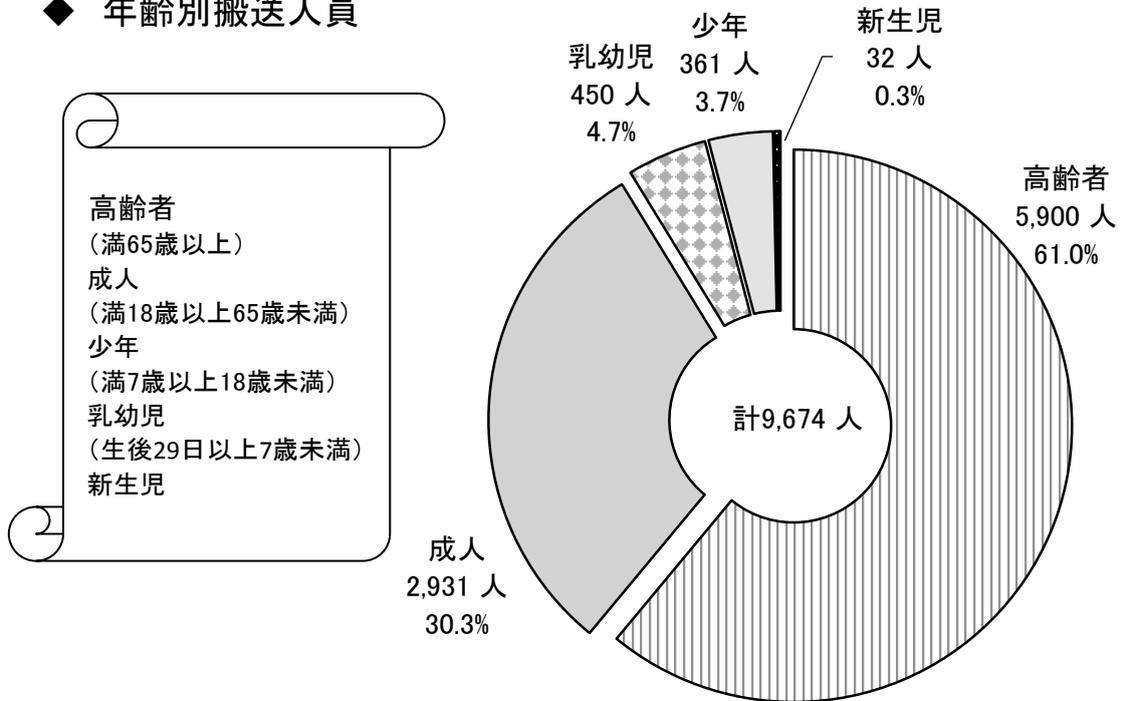
労働災害	114件
運動競技	113件
自損行為	62件
火災	29件
加害	23件
自然災害	1件
水難事故	0件
合計	342件 (3.4%)



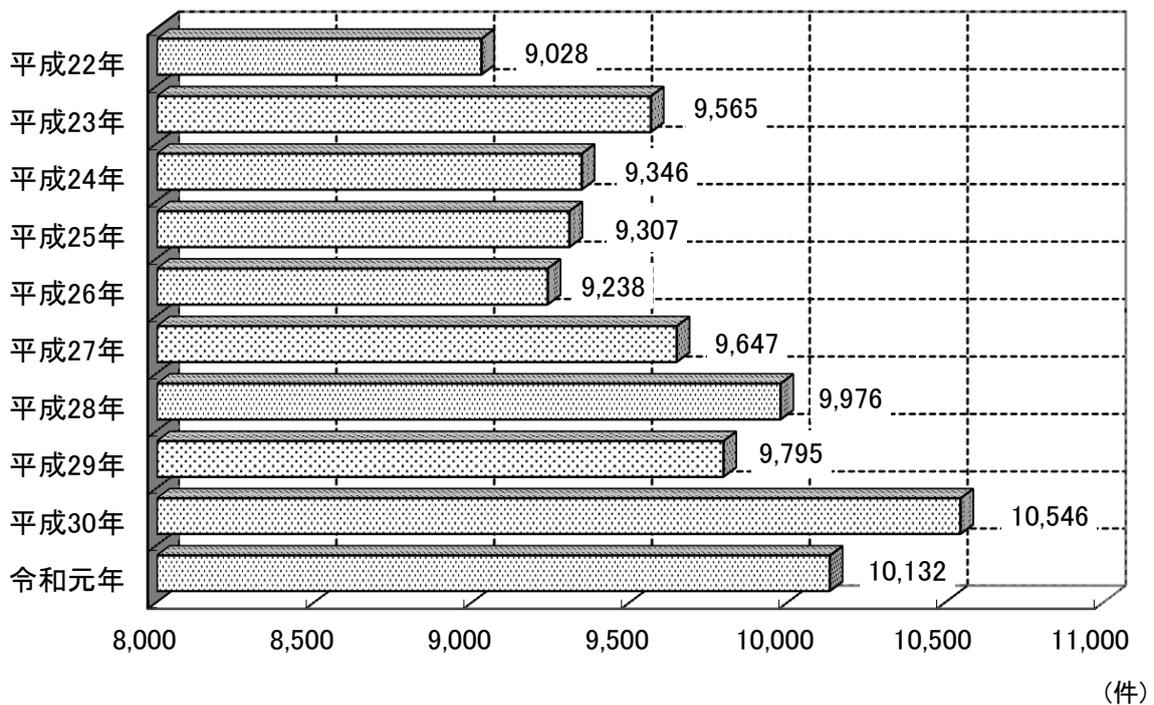
◆ 傷病程度別搬送人員

軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
3,349 人	5,298 人	1,024 人	3 人	0 人	9,674 人
34.6%	54.8%	10.6%	0.0%	0.0%	100.0%

◆ 年齢別搬送人員



◆ 10年間の救急出動件数



救助統計

種別	区分 件数 人員	令和 元年 (A)	平成 30年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					高 速 道 路	管 外	
					大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町			
火 災	建物	出動件数	2	4	△ 2	-	-	-	2	-	-	-
	救助人員	4	6	△ 2	-	-	-	4	-	-	-	
建物以外	出動件数	1	0	1	-	1	-	-	-	-	-	
	救助人員	1	0	1	-	1	-	-	-	-	-	
交通事故	出動件数	35	39	△ 4	18	4	4	3	5	1	-	
	救助人員	33	32	1	19	5	3	2	3	1	-	
水難事故	出動件数	0	5	△ 5	-	-	-	-	-	-	-	
	救助人員	0	5	△ 5	-	-	-	-	-	-	-	
自然災害事故	出動件数	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
	救助人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
機械による事故	出動件数	1	3	△ 2	1	-	-	-	-	-	-	
	救助人員	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	
建物等による事故	出動件数	2	11	△ 9	2	-	-	-	-	-	-	
	救助人員	2	8	△ 6	2	-	-	-	-	-	-	
ガス及び酸欠事故	出動件数	0	1	△ 1	-	-	-	-	-	-	-	
	救助人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
破裂事故	出動件数	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
	救助人員	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
その他の事故	出動件数	13	12	1	10	-	-	1	2	-	-	
	救助人員	9	9	0	8	-	-	-	1	-	-	
合 計	出動件数	54	75	△ 21	31	5	4	6	7	1	-	
	救助人員	49	60	△ 11	29	6	3	6	4	1	-	

(△は負数を表す)

1 日 平 均 出 動 件 数……………約0.148件 (7日に約1件)

その他の緊急出動

区 分	令和 元年 (A)	平成 30年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	市 町 別					高 速 道 路	管 外
				大 垣 市	神 戸 町	輪 之 内 町	安 八 町	池 田 町		
警 戒 出 動	106	138	△ 32	63	4	2	20	15	2	0
調 査 出 動	7	3	4	7	0	0	0	0	0	0
誤 報 出 動	50	59	△ 9	41	2	0	3	4	0	0
虚 報 出 動	0	1	△ 1	0	0	0	0	0	0	0
応 援 出 動	4	7	△ 3	0	0	0	0	0	1	3
P A 連 携 出 動	671	822	△ 151	460	67	30	48	61	4	1
そ の 他 の 出 動	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
合 計	839	1,031	△ 192	571	73	32	71	81	7	4

(△は負数を表す)

1 日 平 均 出 動 件 数……………約2件

- 警 戒 出 動 …… 火災と紛らわしい通報やたき火等で警戒を必要とするもの
- 調 査 出 動 …… 警戒の必要がなく、調査のみ実施する場合
- 誤 報 出 動 …… 火災と間違えて通報されたもの
- 虚 報 出 動 …… 火災の事実がないのに火災と通報されたもの
- 応 援 出 動 …… 管轄外で災害が発生した場合、応援協定に基づいて出動するもの
- P A 連 携 出 動 …… 救急隊の支援を目的とするもの
- そ の 他 の 出 動 …… 上記以外で行方不明者の捜索活動や動物の救出活動など

2019年度全国統一防火標語

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

点検していますか？



住宅用火災警報器！

～設置後10年が経過した電池式の住宅用火災警報器はありませんか？～

電池式の住宅用火災警報器の電池交換の目安は、約10年とされています。設置してから10年が経過している住宅用火災警報器は、点検又は電池の交換を行ってください。また、有事の際に確実に作動するよう定期的に点検を実施しましょう。

なお、消防署が点検や電池交換を業者に委託することはありませんので、悪質な訪問業者には十分ご注意ください。

～未設置の場合は、早期設置を！～

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されています。

住宅用火災警報器は、火災の早期発見につながる非常に有効なものですので、設置されていない住宅は、早急に設置してください。

消防情報テレホンサービス

救急 GO! それ! 1,2

0180 — 995 — 012

火災等のお問い合わせ等